

交通道路マスタープランの進捗状況

概ね平成 37（2025）年を目標とした長期的な交通政策の方向を示す「大阪府交通道路マスタープラン」（平成 16 年 3 月）を策定し、総合的な交通政策を推進しております。

○大阪の再生・発展を支える交通ネットワーク

- ・関西圏における主要都市間の移動時間を短縮

区 間	整備前	整備後	備 考
神 戸～奈 良	88分	76分	阪神なんば線開業（平成 21 年 3 月）
大阪市～京都市	120分	60分	第二京阪道路供用（平成 22 年 3 月）

- ・渋滞の激しい交差点の通過時間を削減

成果指標	現 況	備 考
4 割削減	45%	すろっと交差点対策箇所 57 箇所で調査

○多様なニーズに応えるぎめ細かな交通

- ・「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」を展開

成果指標	現 況	備 考
府域のすべての駅	35 駅	平成 23 年度末時点

- ・アドプト・ロード・プログラムなどへの府民参加を拡大

成果指標	現 況	備 考
10 万人以上	1.6 万人	平成 23 年度

○安全で安心な府民生活を支える交通

- ・NO₂、SPM の環境基準を達成

NO₂、SPM ともに 100%（平成 21 年度末）

- ・沿道騒音の環境保全目標をおおむね達成

環境保全目標達成率：91.9%（平成 21 年度末）

- ・広域緊急交通路の重点 14 路線において耐震性を強化

（阪神淡路大震災と同等の地震発生時においても、交通機能を確認）

延長 353.3km（14 路線）において耐震化完了

- ・ ひったくり犯罪件数を半減

平成 12 年度末	現 況	備 考
10,973 件	1,761 件	平成 23 年中

- ・密集市街地アクションエリアの不燃領域率を向上

（密集市街地のアクションエリアにより、市街地の燃えにくさ向上）

成果指標	現 況	備 考
40%	36.3%	平成 20 年度末

- ・交通死傷事故発生件数を抑止

安心歩行エリア内

成果指標	現 況	備 考
約 2 割	約 1 割	平成 19 年度末

事故危険箇所

成果指標	現 況	備 考
約 3 割	約 17%	平成 19 年度末

- ・主要駅の対象地区においてバリアフリー化を推進

基本構想策定地区：122 地区 181 駅（平成 24 年 3 月末）

貨物車交通プランの進捗状況

“物流”は、効率的な企業活動と便利で快適な府民生活を支えるものであり、大阪では、『貨物車交通』がその中でも重要な役割を担っています。このプランは、貨物輸送の効率化と都市環境の改善を目指して、道路整備などのハード施策と走行誘導等のソフト施策を合わせたものになっています。

○大型トラック走行マネジメントの取組み状況

大型トラック走行マネジメントとして、重さ指定道路の追加指定が望ましい路線を抽出しています。

	路線数	路線延長 (km)
重さ指定道路の追加指定が望ましい路線	25	187.4
重さ指定状況（平成 24 年 4 月 1 日時点）	9	42.6

○中型トラック走行マネジメントの取組み状況

中型トラック走行マネジメントとして、交通渋滞、沿道環境、交通安全面の改善の視点から、渋滞が著しい箇所又は沿道環境が悪い箇所を、整備が望ましい箇所とし、財政状況を見ながら、整備計画に盛り込むこととしています。

	整備が望ましい箇所	整備が望ましい路線	
		路線数	路線延長 (km)
一般道路ネットワークの整備が望ましい路線	6 路線（9 箇所）	8 路線	38.0
整備済路線（平成 24 年 4 月 1 日時点）	2 路線（3 箇所）	3 路線	22.8

○トラック走行マネジメントの主な連携施策の取組状況

大阪府では、走行誘導方策として、物流マップの検討などの取組みを行っています。